


算数 学習相談		学研教育情報資料センター 小 / 算数 / 6年 / 量と測定 / 生活と単位 / 理解シート
------------	---	---

メートル法は、いつごろつくられたの



1799年にフランスでつくられたよ。世界で使われるようになったのは、1875年からだよ。

1

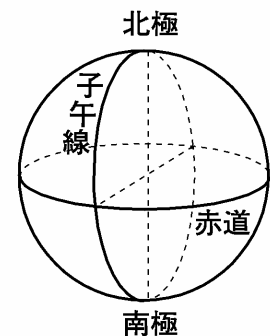
$1m$ は、^{しごせん}子午線の^{ほっきょく}北極から^{せきどう}赤道までの 1000 万分の 1 の長さに決めた。

1700年代の終わりころ、フランスで、世界で共通な長さの単位を決めようではないかという動きが起きました。

地球の子午線の北極から赤道までの長さの 1000 万分の 1 の長さを $1m$ にすることになりました。ほぼ子午線にそって南北にあった、フランスの北海岸のダンケルクからスペインの地中海岸のバルセロナまでのきよりをはかって、その長さをもとにして、北極から赤道までの長さが求められました。それを 1000 万でわったものを $1m$ にしたのです。

$1m$ の^{きじゆん}基準になるものさしとして、^{こくさい}国際^{げんき}メートル原器が作られました。

その後、科学が進歩するにつれて、 $1m$ の基準は変わりました。今では、光が真空の中を、 2 億 9979 万 2458 分の 1 秒間に進むきよりを、 $1m$ としています。



2

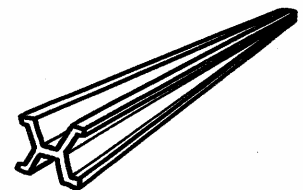
メートル法のはじめは1799年、日本は1885(明治18)年に^{かめい}加盟した。

$1m$ の基準は、フランスで1799年12月に^{こうふ}公布されましたが、長い間、^{こんらん}混乱が続きました。

1837年の法律で、古い単位の使用が禁止されました。それ以後、フランスは、メートル法を世界の国々で使うようにはたらきかけました。

フランス政府のよびかけで、何度も国際会議が開かれて、1875年に^{せいふ}メートル^{じょうやく}条約ができました。

日本は、1885(明治18)年10月に加盟の手続きを終えて、^{よくねん}翌年、1886年4月に公布しました。



メートル原器